

宜野湾市空き店舗対策事業のお知らせ

家賃の**2分の1**（上限5万円）を、最大**6ヶ月間**補助します

● **対象地区** 宜野湾市全域

対象者

- ①平成25年10月1日以降、空き店舗において1年以上の賃貸契約をし、すでに開業または平成26年8月31日までに開業を予定している者
- ②宜野湾市の空き店舗において積極的に自ら事業を営む意欲のある者
- ③空き店舗所有者と同一世帯又は生計を一にするものでない者
- ④市町村税(国民健康保険税を含む)を滞納していない者 等

※市内での移転に伴う空き店舗への入居、増築は対象外です

家賃補助期間 交付決定日が属する月から最大6ヶ月間の補助

募集期間 6月9日(月)～ ※予算額に達し次第締め切り



空き店舗対策事業を活用して開業された事業者の皆さん



ZUMI CAFE (飲食店 新城) ゴンザレスさん

開業2年目

開業のきっかけ

市のトライアル事業で出店し、お客様アンケートで好評をいただいたことが後押しになり開業を決意。事業計画をしっかりと立てたことで県の融資も得られました。このカフェは、趣味のアンティークコレクションを飾り、好きな料理ができる場所。人と接することが好きで、お客様と話をしている時間も楽しいです。

FIREHEAD (美容室 野嵩) 長谷川さん

開業2年目

開業のきっかけ

美容師の業界では終身雇用があまりなく、いつかは自分で開業することを意識していました。

【開業のアドバイス】

開業には不安とリスクがありますが、それと同じくらい楽しさもあります。技術職ですが職人一直線では営業は厳しく、経営の勉強も続けていきます。



花 蓮

(飲食店 普天間) 蔡さん 開店3年目

開業のきっかけ

普天間で店舗を構えたのはここの雰囲気が好きだから。台湾では薬剤師をしていましたが、奥さんにおいしい小籠包を食べさせたいという思いで飲食店を開業しました。

【開業のアドバイス】

開業は最初が一番つらい、赤字ギリギリの時にこの補助金が助けになりました。駐車場のことも考えた上で場所を決めた方がいいと思います。



mati-cafe (飲食店 宇地泊) 湯川さん

開業9年目

開業のきっかけ

京都で和食を勉強しており、大好きな沖縄で、これまで学んだことを活かしたいという思いで開業。

開業当時はどれぐらいのお客さんが来店してくれるか予測できず不安でした。この補助金があることで、不安感を和らげることができたと思います。



問合せ：商工農水課 ☎893-4411 内線441、449